

令和2年度 部局の実行計画一覧

中期計画番号	中期計画／年度計画／部局の実行計画	担当理事／担当部局	評価指標
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置			
1 教育に関する目標を達成するための措置			
(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置			
008	1) 教育環境の整備に関する具体的方策 1 教育の質的転換を推進するために、アクティブ・ラーニング教室並びに学生及び教員の自発的な学修、研修を実施するラーニング・コモンズやティーチング・コモンズ施設を全学的に整備し、活用する。	教育・学生担当理事	アクティブ・ラーニング教室が整備され、活用されている。
	01 ①全学教育機構及び附属図書館は、アクティブ・ラーニング教室、ラーニング・コモンズ及びティーチング・コモンズの利用状況を調査し、活用策を講じる。 各学部は、前年度に見直した整備・活用計画に基づき、アクティブ・ラーニング教室を利活用するとともに、その利活用状況を調査して、必要な改善策を講じる。	年度計画取りまとめ 部署: 教務課	①アクティブ・ラーニング教室、ラーニング・コモンズ及びティーチング・コモンズの利用状況が利用者アンケート等で調査され、活用策が講じられている。 ②前年度に見直した整備・活用計画に基づき、アクティブ・ラーニング教室が利活用されるとともに、その利活用状況が調査され、必要な改善策が講じられている。 ③利用者への調査により施設活用の好例を示されている。
	①教育委員会は、アクティブ・ラーニング教室、ラーニング・コモンズ及びティーチング・コモンズの利用状況調査結果を取りまとめ、効果的な利活用を促進する。	教育委員会	①アクティブ・ラーニング教室、ラーニング・コモンズ及びティーチング・コモンズの利用状況が調査され、活用策が講じられている。 ②前年度に見直した整備・活用計画に基づき、アクティブ・ラーニング教室が利活用されるとともに、その利活用状況が調査され、必要な改善策が講じられている。
	②附属図書館は、ラーニング・コモンズの利用状況を調査し、効果的な利活用を促進する。	附属図書館	①ラーニングコモンズ・アクティブ・ラーニング利用状況 ②活用・改善策の状況
(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置			
017	4 キャリアガイダンスを充実させるとともに、正課外における就職活動支援策を強化し、第3期中期目標期間の平均就職率を第2期中期目標期間よりも向上させる。	教育・学生担当理事	平均就職率(A)が第2期中期目標期間を上回っていること 全学部で実施されていること
	01 ①キャリアセンターと各学部は、前年度に実施した就職活動支援策の検証に従い、教育目的に即したキャリアガイダンスを実施するとともに、正課外における就職活動支援策(エントリーシート対策、面接対策、グループディスカッションなど)の強化を図り、就職率を向上させる。	年度計画取りまとめ 部署: 就職支援課	①令和2年度就職率が第2期中期目標期間の平均就職率(A)を上回っている。
	①前年度の就職活動支援策の検証を行い、正課外における就職活動支援策の強化を図り、就職率の向上に取り組む。	キャリアセンター	・就職支援事業への学生の参加状況 ・就職率が第2期より上回っている。 【根拠資料】 ①就職等状況調 ②就職活動支援事業
	④学生の就職活動を支援するため、キャリアセンター等と連携して、関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	・就職関連図書一覧
2 研究に関する目標を達成するための措置			
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置			
022	2) 研究成果の社会への還元に関する具体的方策 1 環境・防災、エネルギー、食料、感染症等の地球規模の課題解決に資する研究を推進し、研究成果を広報するプレスリリース数を第2期中期目標期間の最終年度より10%増加させる。	研究・社会連携・国際担当理事	研究実績、受賞実績が増加している 広報実績(プレスリリース数)が10%増加している 広報体制の強化実績
	02 ②各学部・研究科において、引き続き広報促進策に基づいた研究成果のプレスリリース等の広報活動を積極的に実施し、地域社会の発展に貢献する。広報室は、研究成果に係るプレスリリース等の広報を促進するとともに、その広報実施状況を把握する。	年度計画取りまとめ 部署: 研究協力課	・地域社会への発展に貢献した広報活動の実績 ・研究成果に係る広報活動の実績 ・広報体制・広報促進策の実施
	①総合研究戦略会議において、各学部・研究科等における研究成果のプレスリリース等の広報活動を促進するとともに広報の実施状況及び広報の成果の検証結果を把握する。 また、広報実績(プレスリリース数)を第2期中期目標期間の最終年度より10%増加させる。	総合研究戦略会議	・各部局の広報活動、広報体制の改善や新たな促進策の検証実績 ・広報の成果の検証取りまとめ(地域社会への発展に貢献しているか含む) ・広報実績(プレスリリース数)が第2期中期目標期間の最終年度より10%増加している
	④研究成果の社会への発信を支援するため、本学の研究成果を機関リポジトリに登録して情報発信する。	附属図書館	・機関リポジトリ登録状況
4 その他の目標を達成するための措置			
(1) グローバル化に関する目標を達成するための措置			
039	1) 教育のグローバル化に関する目標を達成するための具体的方策 2 第2期中期目標期間の平均より交換留学生の受入れ人数を20%、短期留学生の受入れ人数を30%増加させるために、佐賀大学独自の魅力ある受入れプログラムを構築するとともに、外国人留学生のための経済支援、住環境整備や就職支援などの受入環境を充実させる。	研究・社会連携・国際担当理事	交換留学生の受入れ人数 短期留学生の受入れ人数 魅力ある受入れプログラムの構築状況 受入環境の充実度
	01 ①交換留学生や短期留学生に対する、佐賀大学独自の魅力ある受入れプログラムの構築状況の検証を行う。その検証結果を踏まえ、構築した受入れプログラムを更に整備する。	年度計画取りまとめ 部署: 国際課	・魅力ある受入れプログラムの構築状況の検証 ・受入れプログラムの整備実績 ・交換留学生及び短期留学生の受入れ人数の増加
	①交換留学生や短期留学生に対する、SPACE-Eプログラムをはじめ、日本語の授業、自主研究などの受入れプログラムの内容が魅力あるものとなっているか、プログラムのアンケート調査などから検証を行う。その検証結果を踏まえ、構築した受入れプログラムを改善する。 なお、交換留学生の受入れ人数を20%、短期留学生の受入れ人数を30%増加させる。	国際交流推進センター	・魅力ある受入れプログラムの構築状況の検証 ・受入れプログラムの整備実績 ・交換留学生及び短期留学生の受入れ人数の増加
	④外国人留学生を支援するため、国際交流推進センター等と連携して、外国人留学生向けの関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	・留学生関連図書一覧

中期計画番号	中期計画／年度計画／部局の実行計画	担当理事／担当部局	評価指標
040	3海外留学派遣者数を30%増加させ活発化させるために、学内外の各種支援制度の利用を推進するとともに、国際交流推進センターを中心としたサポート体制を充実させる。	研究・社会連携・国際担当理事	海外留学派遣者数 学内外の各種支援制度の利用状況
01	①国際交流推進センターや各部局が実施する海外を志向する国際教育プログラムの整備状況及び学内外の各種支援制度の利活用状況等の検証を行う。その検証結果を踏まえ、国際交流推進センターが中心となり、海外を志向する国際教育プログラムを更に整備する。	年度計画取りまとめ 部署:国際課	・国際教育プログラムの整備状況等の検証実績 ・国際教育プログラムの整備実績 ・海外留学派遣者数の増加
	②国際交流推進センターが実施するSUSAPや各部局が実施する国際教育プログラムの整備状況について、派遣プログラムの体系、学生のニーズと派遣人数、奨学金の支給状況などから検証を行う。また各部局の学内外の各種支援制度(JASSOなど)の利活用状況について検証を行う。 また、JASSOの支援制度が見直し(留学期間1月以上が支援の対象)となることに対する対応を検討し、対応方を策定する。これらの結果を踏まえ、海外を志向する国際教育プログラムを更に整備する。 なお、海外留学派遣者数を30%増加させる。	国際交流推進センター	・国際教育プログラムの整備状況等の検証実績 ・国際教育プログラムの整備実績 ・JASSOの支援制度の改正に対する対応方針 ・海外留学派遣者数の増加
	④本学学生の海外留学支援のため、国際交流推進センター等と連携し、学生の海外志向に関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	・海外派遣関連図書一覧
Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置			
2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置			
063	2)人件費以外の経費の抑制に関する目標を達成するための具体的方策 1光熱水等の使用量を第2期中期目標期間の最終年度より床面積当たり3%削減するために、佐賀大学環境方針の取組を踏まえ、省電力設備であるLED照明設備及び高効率空調設備への更新などの省エネルギー対策を実行する。	副学長(事務局長)	第2期中期目標期間最終年度の光熱水等使用量の3%減
01	①光熱水等の前年度実績を踏まえ、経費削減計画を策定し、管理的経費を削減する。	年度計画取りまとめ 部署:財務課	・経費削減計画が策定されている。 ・光熱水等の使用量が3%削減されている。
	②令和元年度実績を踏まえ、光熱水等の経費削減目標を設定し、管理的経費を削減する。	附属図書館	・経費削減報告書の作成 ・経費削減目標設定報告書の作成
Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置			
3 法令遵守等に関する目標を達成するための措置			
071	1大学活動全般、学内規則を含めた法令遵守に関する啓発活動等の取組及び研究活動における不正行為や研究費の不正使用の防止のために、対象者全員にeラーニングを活用した研究倫理教育などのコンプライアンス教育等を実施する。	企画・総務・財務担当理事	実施計画書の作成 コンプライアンス教育対象者の受講率100% 研究倫理教育計画の策定、倫理教育の実施、計画及び実施状況の検証
01	①引き続き、法令遵守に関して各部局等の啓発活動等の計画・実施状況等を取りまとめ、大学運営連絡会に報告するとともに、研究活動における不正行為や研究費の不正使用防止について、eラーニングを活用したコンプライアンス教育を実施する。また、これらの実施した取組が有効に機能しているか確認するため、内部統制システムによるモニタリングを実施し、必要に応じて改善策を講じる。	年度計画取りまとめ 部署:総務課	・各部局等の法令遵守に関する活動状況の報告 ・研究費不正使用防止に関するeラーニングによるコンプライアンス教育の受講状況 ・研究倫理教育責任者(部局長)単位で、研究倫理教育計画が策定されている。 ・全学的及び各部局において、対象者(研究者及び研究支援者)に対する研究倫理教育(eラーニング等)が実施されている。 ・研究公正委員会により、研究倫理教育計画の策定状況及び計画に基づく実施状況が確認されている。 ・内部統制システムによるモニタリングの実施 ・各年度毎の取りまとめと分析
	②法令遵守に関して各部局等の啓発活動等の計画・実施状況等を取りまとめ、大学運営連絡会に報告する。 また、法令遵守に関する取組が有効に機能しているか確認するため、内部統制システムによるモニタリングを実施する。	総務課	・各部局等の法令遵守に関する活動状況の報告 ・内部統制システムによるモニタリング
	④附属図書館本館および医学分館において、災害、事故等に備えるために防災訓練等を実施する。	附属図書館	・防災訓練等の資料